

～事故のない安全なまちへ～

## 交通安全指導員を募集しています

悲しい事故を防止するために、日々活躍する人がいることをご存じですか。子どもたちや地域の安全を守る「交通安全指導員」の取り組みや、事故を起こさないためのポイントを紹介します。一緒に地域の安全を守りませんか。

《詳細》地域生活課 ☎25-2380



### 交通安全指導員とは

子どもたちや地域の人から親しまれながら、交通安全指導を行うボランティアです。日頃は制服を着て、児童・生徒の登校する時間に通学路の交差点付近で、安全に登校できるように活動しています。また、関係機関と連携して交通安全啓発なども行います。

### 現状と課題

高齢化などの理由により、会員が年々減少しています。その結果、通学路に十分な数の交通安全指導員を配置することができず、人員不足が課題となっています。

### 活動内容

- ・児童・生徒が登校するときの交通安全の確保や指導
  - ・交通安全運動期間中の啓発活動への参加
  - ・各種イベントの交通整理
- ※活動日は登校日のおおむね7時10分から8時10分までの間。(出勤前や時間内で調整することも可能)
- ※交通安全運動期間中の啓発や、イベントの交通整理には活動費が支給されます。

### 服装・装備品を無償貸与

- ・危険な運転を抑止するための制服
- ・歩行者を安全に誘導するための誘導棒
- ・交通安全指導員の証しとして、胸のワッペン、腕章

### 交通安全指導員になるには？

交通安全指導員には特別な資格は必要ありません。各小中学校区内、またはその付近に居住する、原則75歳以下の健康な人で、男女は問いません。

また、万が一のため保険にも加入していますので、安心して活動いただけます。

### 交通安全指導員インタビュー

#### Q. 交通安全指導員になったきっかけは

A. 以前の勤務先で室蘭交通安全協会などに関わりがあり、退職とともに、地域の交通安全に携わりたいと思ったからです。

#### Q. やりがいを感じることは

A. 子どもたちが朝元気な声であいさつをしてくれたり、声を掛けてくれることです。

#### Q. 交通安全指導員になってよかったことは

A. 学習発表会などの学校行事に招待されたり、学校や地域の人などとなつなかりができ、コミュニケーションが取れることです。

また、児童の登校時に合わせて活動するので、朝早く起きる習慣がつき、曜日感覚が狂わず、健康を自己管理できるので老化防止にもなります。

#### Q. 今後の抱負を

A. 体が元気なうちは頑張りたいと思います。また、子どもたちに交通ルールやマナーを教えていきたいです。

#### Q. メッセージを

A. 私が入会したときは交通安全指導員が24人いましたが、現在は9人まで減っています。子どもたちの安全のために、健康な人にぜひ入会していただきたいです。



室蘭市交通安全指導員会  
会長 平山 晴夫 さん

**交通安全指導員に関心のある人は、  
お問い合わせください。**

募集は随時行っています。交通安全教育や指導に興味のある人は、地域生活課にお問い合わせください。

## 交通事故を起こさないためのポイント

### 歩行者の皆さんへ

#### 横断歩道を渡ろう！

斜め横断や自動車の間をすり抜けるなどの危険な道路横断は絶対にやめましょう。心や時間にゆとりを持ち、無理に渡ろうとせず、車が通過するのを待ちましょう。

#### 自分の目で安全確認を！

周りが安全かどうかを自分の目でしっかり見ましょう。特に、一時停止や見通しの悪い交差点では、「車が出てくるかもしれない」という意識を持ちましょう。

#### 夜間は反射材の活用を！

夜間に外出するときは、反射材を身に付け、ドライバーに自分の存在を知らせましょう。

### ドライバーの皆さんへ

#### ゆとりをもった運転を！

スピードは控え目に、車間距離などを十分にとって安全運転を心掛けましょう。特に冬は、気象・路面状況を考慮して、適切なスピードで走行しましょう。

#### 横断歩道は歩行者優先！

横断歩道手前ではスピードを落とし、歩行者、自転車の安全確保に努めましょう。

#### 早めのライト点灯・ハイビームの活用を！

早めのライト点灯で周りに自分の存在を知らせ、自ら周囲をよく確認しましょう。また、夜間はハイビームを上手に活用しましょう。